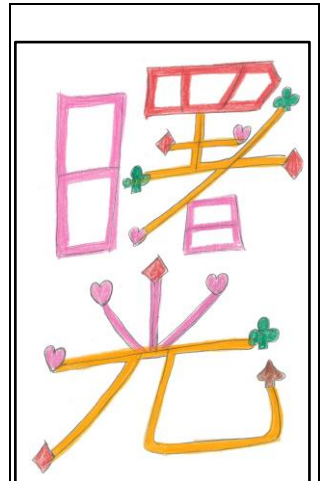


新型コロナウイルス感染者数の増加や自粛生活が長引いている。感染リスクを気にする人と「コロナ慣れ」した人の意識に温度差があり、わが家でもそうだが家族間でも感染対策の意識に違いがある。そうした違いは、あまり気にならない側よりも気にする人の側に徒労感やいら立ちが増しているようである。他国では中国が起源と言われる新型コロナウイルスの出現からアジア系の住民が嫌がらせや暴行を受けたりしている。わが国でも医療従事者・施設職員やその家族がウイルス扱いされることもある。また、予防行動を取らないと思われる人に



第75号

令和3年6月1日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あけぼの
〒739-0036
東広島市西条町田口 295-3
TEL (082) 425-1455

対して攻撃的な言動を行う「自粛警察」といった現象も起きている。

人との距離を取ることは、感染拡大を防ぐうえで重要である。しかし、人と対面してのコミュニケーションを取るのとが少なくなったことで相手の身になることが難しくなっているのではないだろうか。

職場でも学びや他施設との情報交換の機会が減り、今まで当たり前だった顔と顔を合わせての打ち合わせや会議は敬遠され、インターネットを使ったズーム等によるリモート会議が行われている。リモート会議に参加したが、職場のネット環境もあり、多数数の会議では発言内容が聞き取れない状況や時差が生じ、傍

観者的な参加となってしまう。やはり表情や声色を直接感じられる機会が望ましいと思う。

コロナ禍がどういう形で収束していくのか答えのない事態が続いており、現在もそうである。特に都道府県知事は、批判されることも多いが、未知との戦いの中で懸命に正解を選び続けようと努力している。私たちも様々な意見があり迷うことも多い中で、辛抱強く考え続けなければならぬ。分断や差別といった相手の身になる想像力が欠けている意見に惑わされず、相手のことを考え、思いやりを示せば、相手も喜んでくれるのではないだろうか。そうすることで私たち自身も幸せな気持ちになれると思う。これから、他者や理解できないことにも共感できるよう努力し、寛容なる心を持つことが重要なことではないかと思う。



～行事紹介～



桜が満開の4月5日に、「お楽しみメニュー」としてお花見弁当を提供しました。

天気が良ければ中庭にある桜の木の下で、お花見をしながら食べたいところでしたが、前日の雨のため残念ながら叶いませんでした。その代わり、桜の木や桜吹雪をモチーフにした飾り付けをしたり、各テーブル上には本物の桜の花を飾ったりして、美しい春の季節を感じながら召し上がっていただきました。



「お花見弁当（お楽しみメニュー）」（R3.4.5開催）

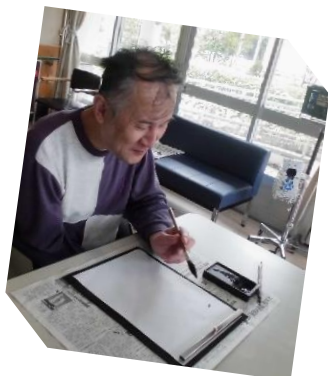


春を迎え、過ごしやすい季節となりました。好天に恵まれた4月19日、中庭のウッドデッキで花の鉢植えをしました。昨年はミニトマトを植えました、今年はネモフィラ、花ニラ、ビオラの花を植えました。みなさん真剣に、また楽しそうに取り組まれました。鮮やかな花が、生活に彩りを添えてくれています。



「花の鉢植え（サンサンウィーク）」（R3.4.19開催）

生活介護の日中活動で書道を行いました。それぞれに好きな言葉「花火」「希望」「つり」など、真剣に筆を走らせていました。人柄のわかる素敵な作品が完成しました。



「書道」（R3.5.13開催）

～生活訓練の活動紹介～

高次脳機能障害
支援のとりくみ

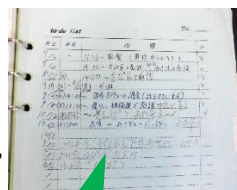
新緑が眩しい5月10日、生活訓練のメンバーでサイエンスパークへピクニックに行きました。
これは、訓練の一環として定期的に行っている行事企画です。

参加利用者 高次脳機能障害のある方、また、併せて身体に障害がある方

目的 コミュニケーション能力の向上(対人技能 感情コントロール 欲求コントロール)
物事を計画的に円滑に進める力の向上
記憶や注意機能などの代償手段を活用(メモリーノートやスマートフォンなど)
健康的な生活習慣の獲得 身体機能の維持向上 など

①計画

メンバーで、役割分担、日程や行先、移動手段、準備物などを協議検討します。



事前に、しっかり計画して準備しておくことが大事だね！

②準備

計画に従って、各自の役割や準備を進めます。

ちゃんとメモしておかないと！

③実施

当日も、それぞれの役割や段取りをしっかりと確認します。

安全など気をつけるべきポイントを押さえつつ、楽しい時間を過ごします。



④振り返り

上手くいったこと、上手くいかなかったことについて、その原因と対策を考えます。

苦手になっていることについては、対策を身につけ、今後の行動に繋げることを目指します。

つぎは、こうすれば
上手くできそう…！

すべてのプロセスに支援スタッフが寄り添い、その都度、必要な助言やフィードバックを行います。参加者にとっては、楽しい時間を過ごしながらも、様々な訓練要素が盛り込まれている、効果的な活動です。

個々の課題と向き合いながら、それを少しずつ受け入れ、行動を変容させていくことで、今後の地域での生活をより自主的に、より円滑に送ることができるよう支援しています。



新任・転任職員紹介



やまだ あさみ
山田 麻美（支援員）

- ① 食えること、ドライブ、書道
- ② 慣れないことや分からないことがありますが、皆さんに笑顔で安心して生活していただけることを心がけながら一生懸命頑張りたいと思います。

- ① 好きなこと・得意なこと
- ② 挨拶をひとつ



はんだ たつや
半田 達也（支援員）

- ① キャンプ、ナゾ解き
- ② 利用者みなさまからたくさんのことを教えていただきながら、ひとつひとつ学んでいきたいと思っています。



たかき みなこ
高木 美奈子（支援員）

- ① スポーツ全般の観戦、物作り
- ② 利用者の皆さまから学び一生懸命頑張ります。



かべ かずき
可部 一希（支援員）

- ① テレビゲーム
- ② まだまだ分からないことがたくさんありますが、一生懸命頑張ります。

利用者の動き

令和3年2月1日～令和3年5月31日

＜新規利用者＞7名（入所4名，通所3名）

【内訳】利用経路：リハセンター高次脳専用病床4，在宅1，事業変更2

利用事業：機能訓練3，生活訓練1，就労移行2，生活介護1

＜利用終了者＞10名（入所3名，通所7名）

【内訳】生活の場：自宅9，グループホーム1

活動の場：就職2，就労継続支援B型3，その他（主な活動なし）1，介護保険デイケア1

精神デイケア1，事業変更2，その他（主な活動なし）1

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。広島県内でもゴールデンウィークを過ぎてから急激に感染者が増えてきています。一方で、なかなか政府が掲げている人流を減らすことは難しさを感じます。ワクチン接種もいつになることか・・・しかし、自分たちができること（マスク着用・ソーシャルディスタンス・うがい・手洗い・不要な外出をしないなど）を継続しながら過ごすことが必要です。医療機関が逼迫しないためにも、より一層気を引き締めないといけないと感じます。

編集後記

今回も題字を書いてくださったのは、利用者の足立一浩さんです。「このような絵を描いてほしい。」とお願いすると、ものの数分ですらすら下書きをお描きになります。しかも、バリエーションも豊富なため、つつい頼ってしまいます。

題字紹介